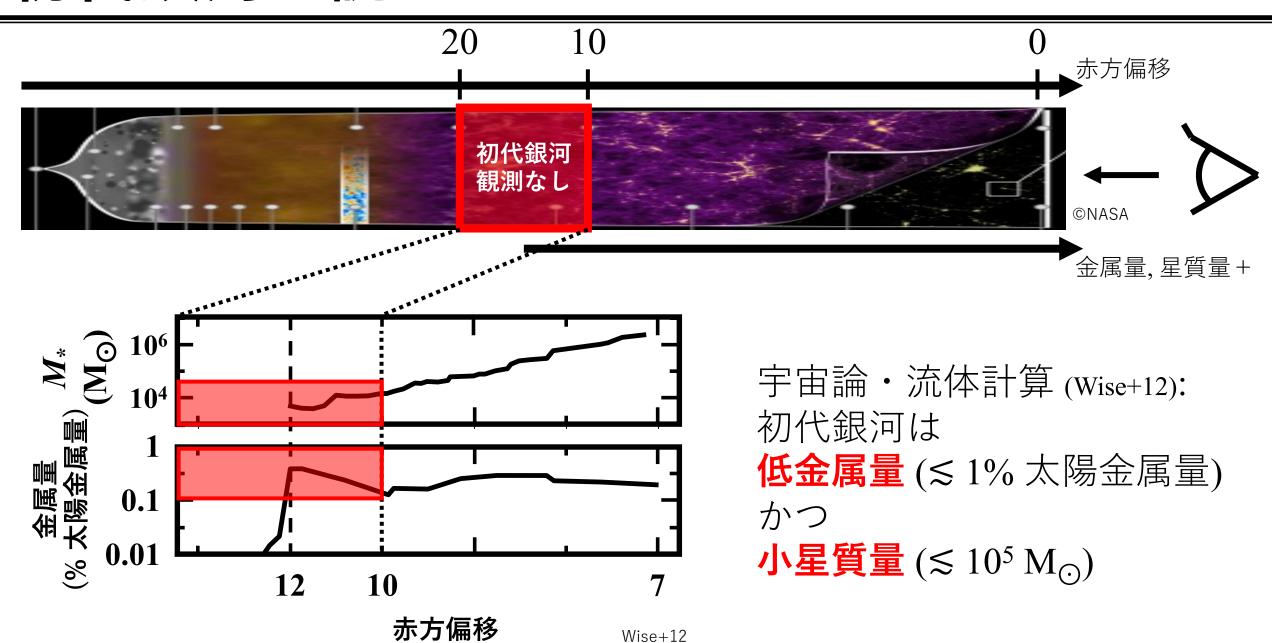
すばる深撮像とせいめい・なゆたで探る 近傍極金属欠乏銀河

磯部優樹(東京大学; ICRR)

大内正己, 中島王彦, 小島崇史, 西垣萌香, 他 HSC Project 251 メンバー

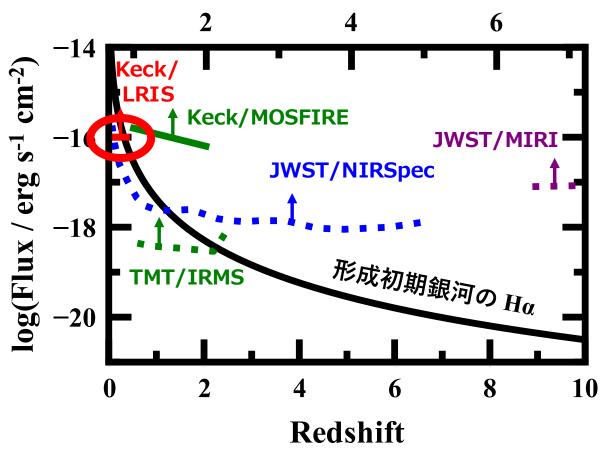
初代銀河の誕生



初代銀河と観測限界

初代銀河は小質量 → 非常に暗い





 \rightarrow 現状では $z\sim0$ の形成初期銀河探査に限られる

現在の宇宙の形成初期銀河

極金属欠乏銀河 ($\underline{\mathbf{EMPG}}$): 金属量 O/H が太陽の $\leq 10\%$

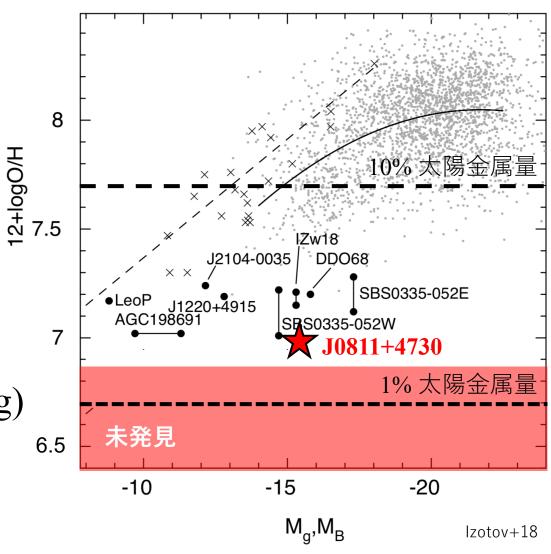
2018年時点の最低金属量:

2% 太陽金属量 (J0811+4730; Izotov+18)

- ↔ ≤ 1% 太陽金属量の銀河は未発見
- →広領域を深く探査する必要

SDSS 分光カタログによる従来の探査: 広領域だが明るいもののみ ($i_{lim} \sim 19 \text{ mag}$)

→ 撮像データ



EMPRESS の EMPG 選択手法

Extremely Metal-Poor Representatives Explored by the Subaru Survey (EMPRESS):

Kojima+20 (Paper I) によって立ち上げられたプロジェクト



撮像データだけで純度高く選ぶ

機械学習

EMPG (+ 他の天体) のスペクトルを生成 撮像で擬似観測した時の色を学習させる

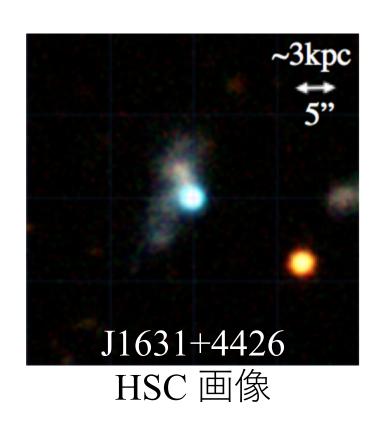
EMPG 候補天体選出 分光追観測して低金属量か確認

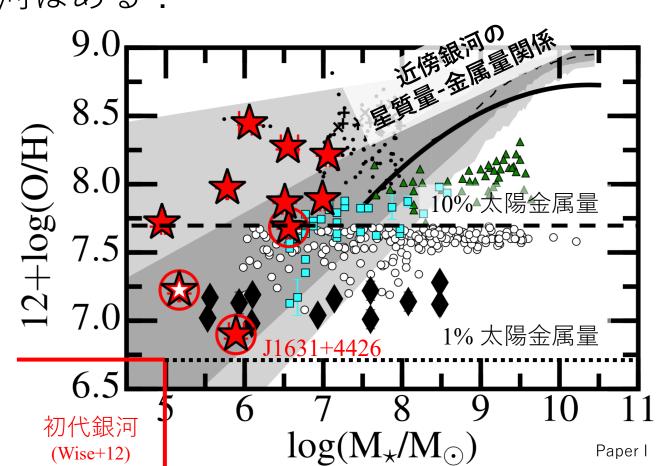
J1631+4426 (Paper I)

1.6% 太陽金属量

観測史上最低金属量記録を更新; 初代銀河に迫る

- ↔ 星質量はやや大きい (~ 10⁶ M_☉)
- → より<u>低金属量・小星質量</u>な銀河はある?





EMPG 探查戦略

撮像データから機械学習により EMPG 候補天体を選択



大量の候補天体をまずせいめい・なゆたで追観測

→ 輝線同定, 赤方偏移算出

小星質量銀河 (≲ 10⁶ M_☉) の同定



有望な天体を大望遠鏡でより深い分光

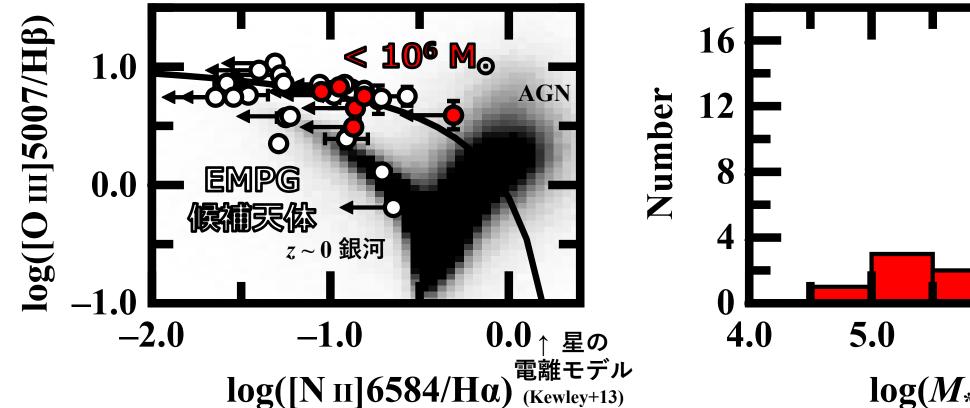
せいめい・なゆたの分光結果

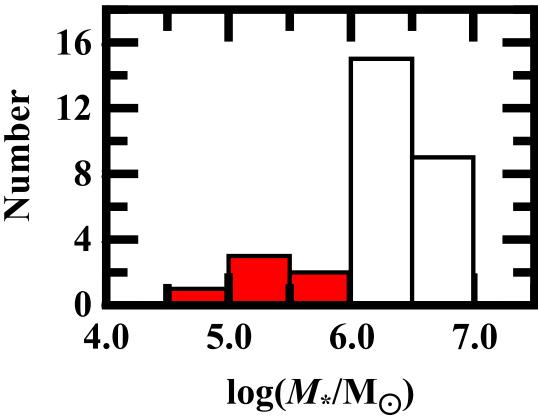
解析した EMPG 候補天体: 54 天体

54 天体中 32 天体から輝線検出

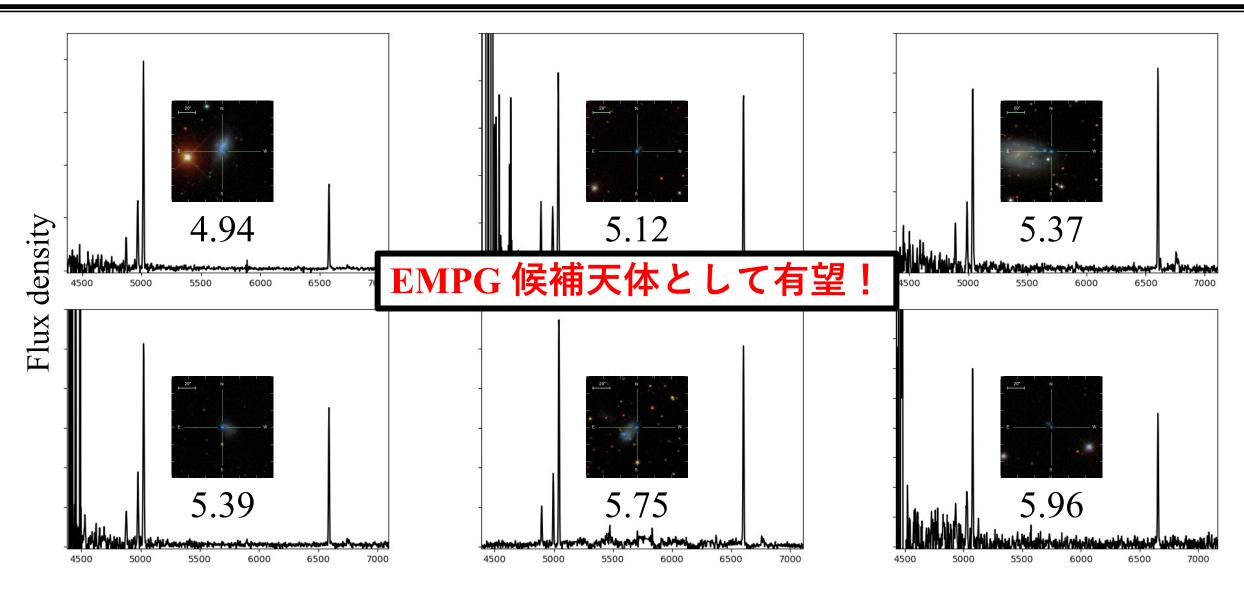
BPT 図: 32 天体の全てが星形成銀河と無矛盾

星質量: 32 天体中 6 天体が < 10⁶ M_☉





小星質量銀河

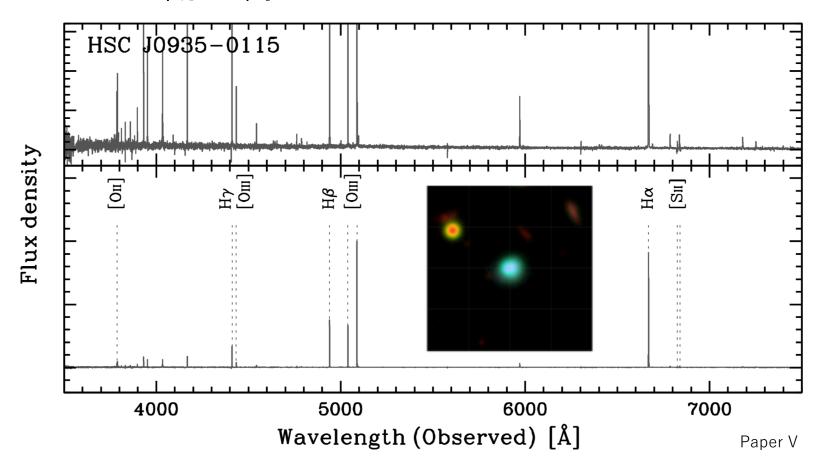


Observed wavelength (Å)

Magellan/MagE 観測

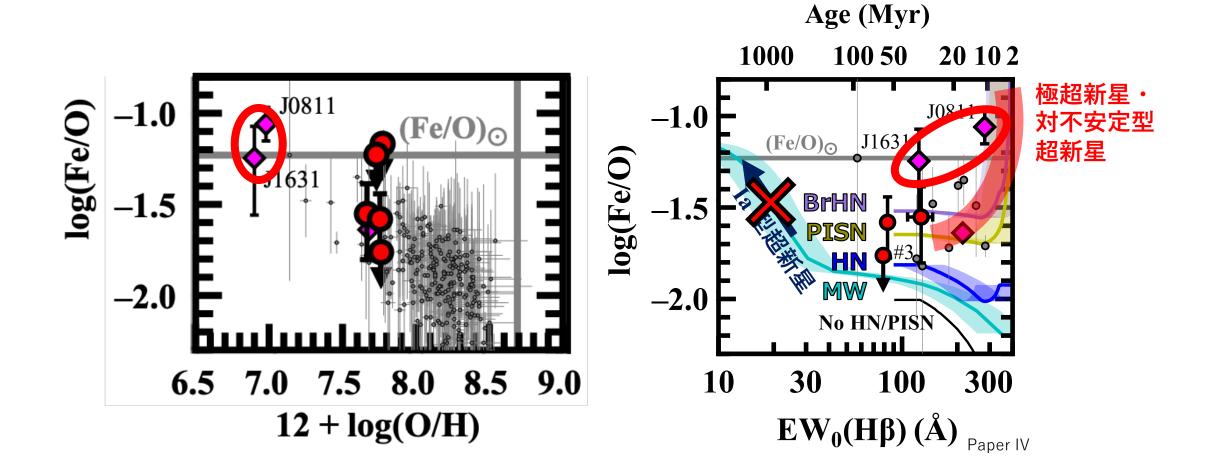
せいめい・なゆたで輝線同定された HSC 天体: 11 天体 うち 4 天体を Magellan/MagE で分光追観測 (Nakajima+in prep. Paper V) → 3/4 が EMPG

J0935-0115: 3% 太陽金属量



EMPG 研究の発展例: 化学組成

非常に**低金属量** (低 O/H) な銀河で**高 Fe/O** (Kojima+21 Paper II) 非常に若い → Ia 型超新星は寄与できない 極超新星・対不安定型超新星? (Isobe+21 Paper IV)



まとめ

EMPRESS: すばる深撮像データから EMPG を選択

初代銀河に匹敵する 1.6% 太陽金属量の銀河を報告

せいめい・なゆたの分光追観測にて非常に小星質量 ($\lesssim 10^6\,\mathrm{M}_\odot$) な銀河を 6 個同定

→ 非常に低金属量な EMPG として有望

これまでの共同利用に関して

観測サポート誠にありがとうございます!

せいめい:

- 観測の度に装置が使いやすくアップデートされています
- スカイファイバーが使えるようになると助かります

なゆた:

- ・CCD 温度を下げてノイズレベルを低くしてもらっています
- オフセット星の条件が緩くなると助かります